

開講科目名 Course	アジア経済論研究 (A) / Asian Economy(A)
時間割コード Course Code	13860
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	火 / Tue 1
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	ブ ティ ビック リエン
科目区分 Course Group	関連科目
教室 Classroom	6 3 A 講義室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	ブ ティ ビック リエン (経済学部)
授業の目標	本講義は、アジア各国はどのような道筋をたどって経済発展を遂げたかについて開発経済学の基礎知識を学び、理解を深めることを目指す。アジア諸国に興味をもつ履修者は本講義の内容を理解した上に、アジア各国の経済指標データを収集して、理論知識を実証して、研究論文に展開できればという狙いもある。
授業の概要	アジア諸国は第二次世界大戦後に飛躍的な経済発展を見せ、経済学者や政策決定者の注目を集めてきた。これらの国々の高い経済成長を促す要因としては、技術革新、生産性向上、市場拡大、産業構造の変化といった国内要因とともに、海外直接投資、貿易の自由化や政府開発援助などの外的要因も重要であることが検証されてきた。本講義は、アジア諸国はどのような道筋をたどって経済発展を遂げたかについて、上記の重要な要因を含む開発経済学の理論を学び、理解を深めることを目指す。 この科目の位置づけについては、本学HPのナンバリングを参照すること。
評価方法	期末レポートを100%として評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	1) 基本的に第1回から毎回出席端末で出席を取る。 また、小テスト等がある授業日は端末出席記録と小テスト提出の記録と両方がある前提で、出席とみなす。 2) 欠席回数が全15回中に5回以上(つまり、欠席が5回に達した)学生
授業計画	第01回：イントロダクション 第02回：予備知識：ミクロ経済学の基本概念の復習 第03回：貧困のメカニズム 第04回：人口転換 - アジアの人口問題(1) 第05回：人口転換 - アジアの人口問題(2) 第06回：「緑の革命」- 農業の技術進歩(1) 第07回：「緑の革命」- 農業の技術進歩(2) 第08回：工業発展(1) - 理論モデル 第09回：工業発展(2)- 工業化の初期条件 第10回：工業発展(3)- 工業化政策 第11回：貿易と海外直接投資 第12回：政府開発援助(ODA) 第13回：社会主義経済から市場経済への体制転換(1) - 中国 第14回：社会主義経済から市場経済への体制転換(2) - ベトナム 第15回：総まとめ・質疑応答
テキスト	
参考書	1) 渡辺利夫 (2005) 『開発経済学入門』東洋経済新報社 2) Le Thanh Nghiep (2005) 『ベトナム経済の発展過程』三恵社 3) 大野健一・桜井宏二郎(1997) 『東アジアの開発経済学』有斐閣

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	1) 授業終了後、教室で対応する。 2) オフィスアワーに研究室で対応する。 3) 上記以外の場合は、アポイントを取って、対応する。
フィードバックの方法	1) 授業終了後、教室で対応する。 2) オフィスアワーに研究室で対応する。 3) 上記以外の場合は、アポイントを取って、対応する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	本科目は各回授業の前後に密接な関係があるため、復習時間を特に多めに割いて、理解できるまで繰り返しに復習する必要があります。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	1. 貧困をなくそう 4. 質の高い教育をみんなに
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	